

サミット効果持続

三重県 忍者、城跡、SUP

2015年度第1回三

重県観光情報提供会「実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」が8月24日、大

阪市のホテル新大阪コンファレンスセンターで開かれた。関西のメディアに、伊勢志摩で来年5月に主要国首脳会談(サミット)開催が決まったことなどを紹介した。

サミット主会場になる志摩市は、開催決定の効果が表示されている。志摩自然学校や横山ビジターセンターなどの入り込み客数が今年7月の昨年対比で大幅に増加。海女小屋



サミット開催で注目が集まる三重県をPR

体験施設さとうみ庵の食事コースがサミットにちなみ3310円とするなどの大岩壁・榎ヶ崎や、市内でサミット記念マニアから注目を集める赤木城跡、日本最大規模の1340枚の棚田・丸

た。

南伊勢町は今年4月に恋人の聖地選ばれ、10月には鐘七ニユメントを除幕する鶴倉園地ハートの入り江をアピール。

大台町は今年から始めた清流宮川でのSUPなどの自然体験を、津市は2009年の豪雨被害以来不通だったJR名松線が来春復活することを伝

名張市は、着地型のリアル忍者修行ツアーをアル忍者修行ツアーをア

勝会の増田茂樹さんはPRした。伊勢志摩では10月1日勢市で全国菓子大博覧会

「企業研修会、インバウンドなど本物を体験するツアーとして売り出したい」。

伊賀市は、創業100年の養肝漬やたまり醤油3月末まで実施する。伊勢志摩コンベンション機構の森早里さんは「来年は、サミットに加えて伊勢志摩国立公園が指定70周年を迎えます。ゴール

デンウイークを中心に伊勢市でも開催されます」。